

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月01日

計画の名称	茨木市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	茨木市												
計画の目標	宅地耐震化推進事業の促進を図るため、第二次スクリーニング調査実施に向けた優先度の高い大規模盛土の箇所の抽出及び計画を策定し、今後の滑動崩落防止対策につながることで、災害に強い安全な地域づくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	18	A	18	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	市内の大規模盛土造成地について、第二次スクリーニングを実施する優先度の評価を行い、公表することで住民の関心を高める。 対象地について、市HP等により公表率を100%にする。 (変動予測調査を実施し公表した造成地数) / (全大規模盛土造成地数)	R4	—	R4
		0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	茨木市	直接	茨木市	—	—	茨木市宅地耐震化推進事業（防災・安全）	大規模盛土造成地変動予測調査（第二次スクリーニング計画策定）	茨木市	■					18	—	
												小計						18	
											合計						18		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 社会資本整備総合交付金事業の事後評価として茨木市で実施	事後評価の実施時期 令和5年7月 公表の方法 茨木市ホームページで公表
--	--

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市内における大規模盛土造成地の位置を把握し公表することにより、地域住民の身近に盛土造成地が存在することを周知し、市民の防災意識向上に寄与している。 第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、対象地の変動予測調査（現場踏査、優先度調査等）を実施した。その結果、滑動崩落防止工事が緊急に必要となる盛土はないことが判明した。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	市内における大規模盛土造成地の位置を把握することで、安心・安全に暮らせる地域づくりに効果がある。

○特記事項（今後の方針等）

変状の発生状況や進行状況の点検をすることが望ましいと評価された盛土について、今後経過観察を実施していく。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング計画の作成、公表	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%